

第2章 避難計画

1 津波到達予想時間の設定

想定地震	北海道北西沖（沿岸側）の地震			
項目 地名	影響開始時間 (分)	陸域被害警戒時間 (分)	第1波到達時間 (分)	最大遡上高 (m)
頓別漁港	87	90	90	4.0
豊牛	89	92	95	4.2
斜内漁港	93	96	100	3.8

想定地震	紋別沖の地震			
項目 地名	影響開始時間 (分)	陸域被害警戒時間 (分)	第1波到達時間 (分)	最大遡上高 (m)
頓別漁港	42	46	50	7.0
豊牛	40	46	49	6.6
斜内漁港	37	43	47	6.8

想定地震	網走沖の地震			
項目 地名	影響開始時間 (分)	陸域被害警戒時間 (分)	第1波到達時間 (分)	最大遡上高 (m)
頓別漁港	75	76	77	4.2
豊牛	73	74	77	4.6
斜内漁港	69	70	71	5.5

2 津波避難計画

避難対象地域、避難路・避難経路、避難場所、避難ビル等は次表のとおりとする。

避難対象 地域名	避難場所 避難目標地点	避難路 避難経路	避難ビル等	備考 (自動車の利用等)
斜内地区	斜内裏山 北オホーツクトン ネル（枝幸町）	国道 238	—	自動車を利用
豊浜地区	旧豊寒別小学校	国道 238 → 道道豊牛下頓別停車場線	—	自動車を利用
豊牛地区			—	
頓別地区	多目的アリーナ	道道	—	自動車を利用
栄和地区	浜頓別高校	国道 238	—	
3町内地区			—	原則徒歩

(注) 沿岸地区における避難ビルの指定について、津波到達予想時間から、避難対象地域における避難困難地域を設定していないが、避難開始が遅れた場合における一時的及び緊急的に避難及び退避することが可能な施設として、施設所有者及び管理者と協議の上、町が指定したものである。

ア) 津波避難場所

津波避難所は、津波の危険から避難するために避難者が直接又は高台避難場所に避難する場所。

○ 津波時の避難場所

No.	施設名	所在地	電話番号	収容規模面積	標高	海岸からの距離
				収容可能人員		
1	浜頓別町多目的アリーナ	浜頓別町中央北	2-4666	3,067 m ²	10.3m	2.5 km
				900 人		
2	旧豊寒別小学校	浜頓別町字豊寒別	—	329 m ²	26.3m	1.3 km
				90 人		
3	浜頓別高等学校	浜頓別町緑ヶ丘5丁目	2-2109	1,383 m ²	13.4m	3.0 km

イ) 津波避難ビル

津波から身を守るためには、直ちに高台に逃げるのが大切であるが、津波から逃げる意思を有し、迅速な避難行動をとった場合においても、地震発生から津波到達までの時間的猶予や地形的条件等の理由により、津波からの避難が特に困難と想定される地域において、やむを得ず使用する緊急的・一時的な避難施設（津波避難ビル）を確保する必要がある。

津波避難ビルは、住民等の生命の安全を確実に担保するものではないが、津波避難ビルの選定にあたって認識しておくべき最も重要な点は、緊急的・一時的であろうと津波から生命を守る可能性の高い手段を少しでも多く確保しておくという姿勢である。

このため、平成17年6月に内閣府が策定した「津波避難ビル等に係るガイドライン」、平成24年3月に国土交通省が策定した「津波避難ビル等の構造上の要件の解説」及び平成24年6月に北海道が策定した「津波避難計画策定指針」を踏まえ、緊急的・一時的な避難施設を選定する際の要件等とする。

① 津波避難ビルの構造的要件

- ・ RC（鉄筋コンクリート造）又はSRC（鉄骨鉄筋コンクリート造）の建物構造とする。